



帝京平成大学
オープンキャンパス

薬学部

楽しく学ぼう！

2024 08 25

模擬授業

体験実習

オープンラボ

ガイド

薬学部・オープンキャンパス タイムスケジュール

- ◆ 薬学科のご説明（是非ご参加ください）（3階303教室）
10:10~10:35 13:00~13:25
- ◆ 模擬授業（3階303教室）「口の中ですっと溶ける錠剤で変わる服薬習慣」
10:35~10:50 13:25~13:40
- ◆ 薬育デモンストレーション（3階303教室）
「実際の“薬育”の様子を見てみよう！」 10:50~11:00 13:40~13:50
- ◆ 体験実習（3階318教室） 時間予約制：303または318教室で整理券を配布します。
「軟膏の混合調剤を体験してみよう」
11:10~11:40 / 13:00~13:30 / 13:30~14:00 / 14:00~14:30
14:30~15:00
- ◆ 体験実習（4階436教室 SGDルーム）
「薬剤師の仕事体験（実習）」 10:00~15:00
1) ロボットシミュレーターを使って、フィジカルアセスメントを体験
2) Webシステムを使って、オンライン服薬指導を体験
- ◆ オープンラボ（3階312研究室）
「がん細胞と闘うビフィズス菌をみてみよう」 10:00~15:00
- ◆ 学生交流・進学相談（4階436教室）
「薬学部のこと、薬剤師のこと、なんでも訊いてみよう」 10:00~15:00

その他（全学部共通）

- 大学概要・入試制度説明 12:10~12:50 (2階225教室) 14:00~14:40 (2階225教室)
- 面接対策講座 12:50~13:20 (2階225教室) 14:00~14:30 (2階204教室)
- 食堂体験 11:00~15:00 (1階 学生食堂) (ラストオーダー14:00)
- キャンパスツアー（所要時間20~30分） 1階 玄関ホール・出発
10:00~15:00（最終受付14:30）

以下は10:00~15:00

- 個別相談（入学者選抜・奨学制度） 1階 玄関ホール
- 個別相談（就職） 1階 就職支援室
- 学生生活紹介・部活・サークル紹介 5階 アリーナ
- メディアライブラリーセンター（図書館）見学 8階 図書館
- 薬用植物園見学 7階 エレベーター横

模擬授業 10:35-10:50 13:25-13:40
303教室 (3階)

口の中でスッと溶ける錠剤で 変わる服薬習慣

服薬習慣は、健康な毎日を送るために、たいへん重要な要素です。加齢に伴って、高血圧、糖尿病、高脂血症などの生活習慣病になる方が散見しますが、これを放置していると、狭心症、心筋梗塞、脳卒中、腎臓病などの命に関わる恐ろしい病気になりかねません。そこで、薬をキチンと飲んでいただく服薬習慣に心がけ、病気を薬でコントロールしながら、病気と仲良く付き合っていくことが大切になります。しかしながら、苦い粉薬や大きな錠剤などは、毎日の正しい服薬習慣を妨げる厄介な薬です。そこで、口の中で溶けてしまい、チョコレートなどの味がして苦くなく、楽に飲み込むことができる錠剤などを造りました。本学の薬学部の学生は、このような服薬習慣を変える錠剤のことを、学習しています。



正しい服薬習慣こそが、治療を成功させる秘訣。口の中でスッと溶けて楽に飲める錠剤なら、キチンと飲めますよ。

東京薬科大学卒業後、東京慈恵会医科大学附属病院薬局薬剤師、静岡県立大学薬学部教授を経て、現在に至る。
博士（薬学）、静岡県立大学名誉教授

教授 並木 徳之
物理薬剤学ユニット

“薬育”デモンストレーション 実際の“薬育”の様子を見てみよう！

会場・時間

学科説明会場 (3階 303教室)

第1回 10:50～ / 第2回 13:40～

(学科説明、模擬授業の後、10分間で行います。)

- 現在薬剤師は、地域住民の予防や未病に積極的に係る健康サポート役割が求められています。
- “薬育”とは、薬学生が小中学校や高齢者施設等へ赴き、医薬品の適正使用や薬物乱用防止など健康な身体をつくるための教育活動です。
- 本学では2018年に開始し、2021年からは地域連携部の学生を中心に、継続的に行っています。
- 2年生後期のセミナー科目でも、学生同士で行う“薬育”を取り入れています。
- 実際に学生が行っている様子をご覧ください！



- 担当 薬育・地域連携委員会 地域連携部

体験実習

軟膏の混合調剤を体験してみよう！

会場・時間

調剤実習室（3階 318）

11:10～11:40 / 13:00～13:30

13:30～14:00 / 14:00～14:30 / 14:30～15:00

時間予約制：整理券を配布します

- 薬剤師は、処方箋に基づく調剤を行う際、錠剤、散剤、水剤、外用剤など様々な剤形を扱います。
- 調剤は、製品をそのまま使用する場合と、複数の薬剤を混合して包装したり、容器に充填することが必要な場合があります。
- 今回は、軟膏をへらを使って混合し、容器につめてみましょう！



- 担当 薬学臨床教育研究センター
社会薬学教育研究センター

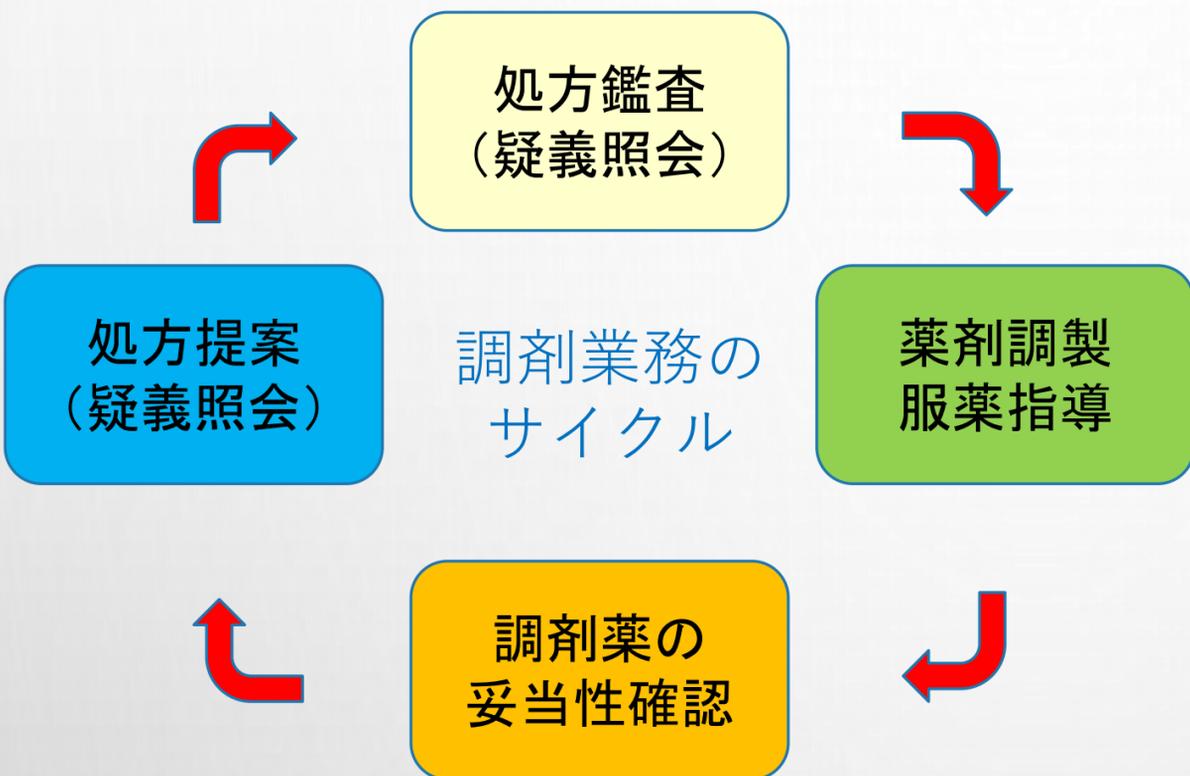


薬剤師の仕事体験（実習）

- 1) ロボットシミュレーターを使って、フィジカルアセスメントを体験
- 2) WEBシステムを使って、オンライン服薬指導を体験

会場：SGDルーム（4階 436）

フィジカルアセスメント体験：薬剤師が視診や聴診、触診などによって患者さんの全身状態を評価すること、いわゆる「フィジカルアセスメント」を行うことにより、副作用の防止や薬物療法の効果の判定に寄与することが出来ると期待されています。



お薬はちゃんと効いているのか？
副作用は出ていないか？

薬剤師に求められる新たな技術

薬剤師からの聞き取り
患者さん自身の訴え
患者さんの外観
臨床検査の値



皮膚の状態、むくみ、脈拍
呼吸の音
心臓の音
お腹の音

基本的項目

フィジカルアセスメント

オンライン服薬指導体験：感染などの状況があっても薬剤師と患者の信頼関係を常に継続することが可能となります。

外来通院

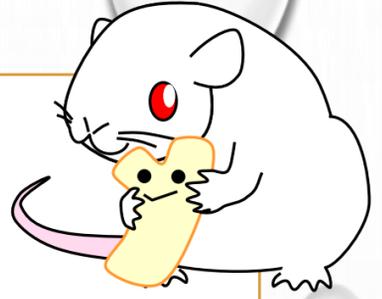
- ・他科受診
- ・多剤服用
- ・OTCとの併用
- ・サプリメント等の併用
- ・勤務時間との調整 etc.

在宅療養

- ・服用、嚥下困難
- ・一包化、粉碎
- ・管理困難
- ・介護者不在の時間 etc.

担当教員
島崎学, 渡邊伸一, 中谷良人

オープンラボ



薬学のラボを体験しよう！！
がん細胞と闘うビフィズス菌をみてみよう
専門ラボ3（3階312）
10:00～15:00
（見学随時）

現在、国内で医療に使われる費用（医療費）は増え続けています。中でも、がんは患者さんの数の増加と高価な医薬品のために、医療費が増える大きな要因となっています。

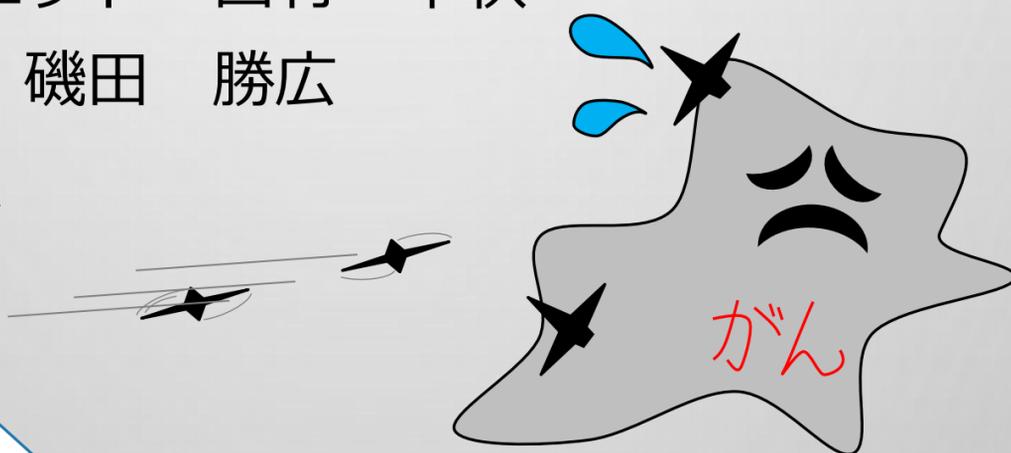
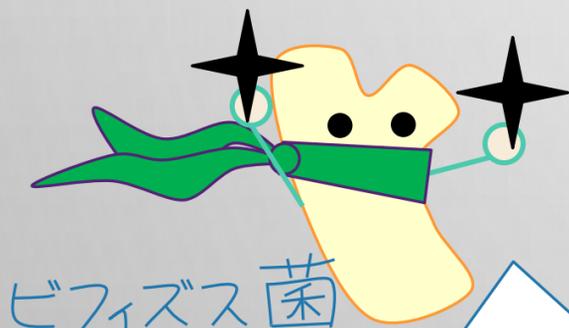
私たちの研究グループでは、これまでの医薬品開発の歴史の中で、途中で開発を打ち切られてしまったものを復活させ、時間とお金をかけずによく効く治療法を開発しようとしています。

その研究から生まれたのが、ビフィズス菌を使ったがん治療法です。今回のオープンラボでは、ビフィズス菌をどのようにがんと戦わせているのか、その戦略や、実際にビフィズス菌を培養しているところなどを見ることができます。

担当教員

タンパク質科学ユニット 西村 千秋

生体制御ユニット 磯田 勝広



がん細胞のいるところにすばやく近づいて、秘密の武器でがん細胞をねらい撃ち！
みんなのおなかの中にいる仲間と一味ちがう私たちを見に来てね！

ぼくも活躍するよ！
どんな活躍かはオープンラボに来てみてのお楽しみ！

